

発行所  
青森県高等学校・障害児  
学校教職員組合  
青森市橋本1丁目2-25  
教育会館 017(734)7287  
編集発行人 田村儀剛  
購読料一部20円は組合費  
の中に含む

●組織外カンパへの協力を  
をお願いします。  
●長時間労働、パワハラ・  
セクハラなどお困りのこと  
がありましたら、高教  
組へ相談を。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>



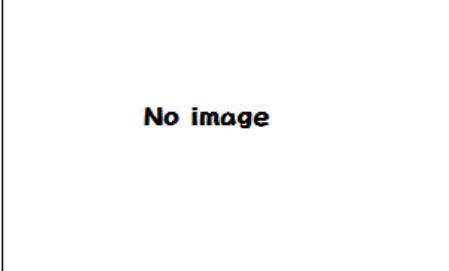
新年あけましておめでとございませう。  
新しい希望に向けて、今年も新春対談で高教組新聞の幕  
を開きたいと思えます。参加した先生方の話を聞きながら、  
学校の現在の問題を考え、未来を展望したいものです。  
困難なことが多い教育現場ですが、今年もよろしくお願  
いします。

田村.. みなさん、あけましておめでとうございます。今日は新年早々で多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。久しぶりに青年と委員長との対談を「新春対談」として新聞に掲載することになり、この場を設けました。今日は、参加したみなさんに忌憚のない意見と将来の展望を語っていただきたいと考えています。よろしくお願います。田村.. まず最初に、青年教

職員が働いている、現在の勤務状況を聞きたいと思えます。  
榎.. 健康を書した先生方がいて心配していました。次に病気になる方がいつ出てもおかしくないと思えます。  
鳥潟.. 昨年、全教の青年部の常任委員をやりました。私よりも若い先生方が、若い教師の悩みに応え、勤務条件を改善している姿に感動しました。私も忙しいのですが、彼らも現場で忙しいのだらうなと思うと、頭が下がりました。  
前田.. 家庭と学校の両立は今の私の課題です。勤務が多く学校では大変ですが、家庭を支えていけるのは私一人です。私しか居ないと感じます。学校は教職員の協働で仕事になり立ちます。今は、家庭のために一生懸命働きたいと考えています。  
高瀬.. 現在は遠距離通勤です。通勤が辛く、今は耐える時だと考えています。本校では遠距離通勤が多く、単身赴任よりも楽ですが経

**青年教師の働き方は?**

経済的には大変です。早く改善して欲しいと考えています。



田村.. 現在、高教組の最重要課題は長時間労働の改善です。そのため、昨年からは何度も労働安全衛生法の学習を企画し、改善のための方策を研究しています。前にも書きましたが、現職教職員の死亡率が全国一という汚名を返上するためには、現在の先生方のサービスマン業を大幅に減らす必要があります。人間らしい働き方が実現して初めて、良い教育ができるのではないのでしょうか。青年教職員には長時間労働のしわ寄せが一番強くでているのだと思えます。あまり無理をせず、仕事を続けて下さい。  
\*2面に続く

**坂道の風**  
先日、久々に相模放送を見た。なぜ久々かというところ、普段そんな時間に帰れないからである。冬は勿論、夏でも明るい時間に学校を出られない。私の時間外勤務は一ヶ月、約百時間。出勤も早いので、近所では我が家を空き家と思っているに違いない。▼話題は相模に戻すが、久々に見たら、私は大変イライラした。つまり、なぜ直ちに試合を始めるのかということがある。なぜわざわざ塩を撒くのか?塩なしで出来るだろう。試合なんだから。百歩譲って塩撒きを認めるとして、せめて一度にしたい。だのになぜアウンサーが「制限時間いっぱいです」と言うまで何度も撒くのか。「とつとと組め!」と叫びそうになり、その時思った。こりゃかなり病んでいるのかも?▼最近、組合の学習会で労働安全衛生法を学び、今の勤務状態が労基法に抵触すると再認識した。学校の衛生委員会をともに機能させる。それに教職員と命はかかっているのではないか。(妹子)

### どうして組合に加入したのですか?

前田…人として権利があるのですが、それが侵されそ

うになったとき組合員に助けられていました。組合は権利を理解していない人、知らない人や生徒をサポートしていると感じたので加入しました。

No image

新春対談に出席した皆さん。

### これからどんな教師になりたいのですか?

鳥潟…組合の先生から加入を勧められ、組合のことを深く考えたわけではありませんが、その先生の仕事ぶりがすてきだったので加入しました。  
横…一緒に働いている人が組合員で、勧められて入りました。  
高瀬…そうですね、すばらしい組合員の姿を見て、加入を決意しました。  
田村…そうですね、みなさんの加入のきっかけは組合員の仕事ぶりや、人間性、考え方に共鳴して加入しているんですね。学校現場は人間的なつながりが大切ですよ。

鳥潟…私は先輩の先生方から色々指導していただいたんですが、私が指導したこととはありません。これからは、自分がやってもらったように若い先生方に頼ってもらえるような教師になりたいですね。  
横…必要なことは教師として成長するための勉強だと思っています。私が加入して直ぐ全国教研で大阪に行き、そこで視野が広がります。

した。人間は経験で育ちます。これからもいろんな経験をしてチャレンジしていきたいです。生徒にもそのことを伝えたいと思っています。  
高瀬…今まで、知的障害、聴覚障害の特別支援学校での勤務を経験しましたが、将来的には他の障害種も経験したいと思います。特別支援の専門性を高めるためにも、働く環境を改善することほとても大切なことだと考えます。



No image

### まとめに代えて

私も若い先生方が今日お話ししたような、教育現場での働きやすい環境への改善が必要だと思えます。今の教師たちは、自分の子どもを教師にしたいと考えているのでしょうか。自分の働かされ方を考えると、素直にそう考えることができなと思います。広がる長時間過密勤務、教職員管理など学校には問題が山積しています。確かに、一般企業の労働環境も決して良いとは言えません。しかし、現実を良しとせず、改善することを目指せるような教育が私たちに求められているのではないのでしょうか。

目指すのか、権利や法律なども含めて教えることができるようになりたいと思います。  
田村…みなさん、ありがとうございます。ございました。

前田…教員の仕事は、学年団や教職員同士の連携で成り立っています。また、近くに相談できる先生が居ないと辛くなります。忙しい職場では雑談もなくつまらない環境になります。様々な経験を積んで、人間関係をしっかりと作れる教師になりたいですね。  
鳥潟…ひどい勤務条件で働いている定時制の教員が居ました。体を壊しそうなので心配していました。教職員の権利をしっかり教えることができるようになりたいですね。  
横…教職員の仕事はボランティアで頑張るのが当たり前になっています。生徒達には、充実した人生を送るためにどのような働き方を

最近、キャリア教育が推進されています。しかし、文部科学省や財界の求めるキャリア教育は、企業の横暴な採用行動や政府の労働者軽視の労働力政策などの構造的要因を問わず、労働教育の道徳教育的側面、適応性の強調を前提としたものです。「働かされる」という意識の中でしかキャリア教育をとらえていません。私たち教師も思考をその枠の中に押し込まれています。私たち自身が、私たちの労働環境を自主的に改善していくことで新たな地平が展望できます。今日の対談でそのことをあらためて感じるとともに、若い先生方の豊かな感性に感動しました。  
私たちが自身の環境を変えていくことは、子どもたちの未来にもつながっています。子どもたちが変革の視点を持って生きていくことを、私たち教師が自ら示していかなければならないのではないのでしょうか。今日は短時間ではありませんでしたが、これからの教育現場と高教組の未来を感じることができました。参加した先生方、積極的な発言、本当にありがとうございました。

# 到底納得できず決裂

## 給与構造の総合的見直し 教育長交渉

1月15日、高教組など教育4団体は「給与構造の総合的見直し」に関する教育長との最終交渉に臨みました。県教委側は約束していた修正案を提示しましたが、組合側は「到底納得できない」として交渉は決裂しました。

交渉には中村教育長と佐藤・奈良両次長が出席、組合側も教育4団体のすべての委員長が出席しました。12月11日の提示後、これまでに1月9日の山田職員福利

交渉に出席した中村教育長

No image

①給与構造改革の経過措置撤廃の若干の改善案  
2006年4月から「公務員給与構造改革」によって給料が平均4.8%(最大7%)減額され、その差額が経過措置額として支給されてきました。来年度はその経過措置額の半額とし、2016年4月1日に廃止するとしていましたが、今回の提示では来年度に支給するのは「半額」ではなく、「1万円を減じた額」を支給するとしています。

## 中村教育長、勤務条件の具体的改善を約束

最初の提示			修正案		
	5%	10%		5%	10%
2014	32歳	48歳	2014	32歳	48歳
2015	34歳	52歳	2015	33歳	49歳
2016	34歳	52歳	2016	34歳	50歳
2017	34歳	52歳	2017	34歳	51歳
2018	34歳	52歳	2018	34歳	52歳

役職加算に経過措置を設ける県教委の修正案のイメージ(高教組作成)

②期末手当および勤勉手当の役職加算の経過措置案  
ボーナスの役職加算の改善では、教育職2級では5%が大卒10年から12年、10%が大卒26年から30年に、教育職1級では5%が大卒14年から16年、10%が大卒29年から33年への引き上げが提示されています。すでに5%もしくは10%の加算を受けている方の中には、加算額がいったん減らされる人が出てしまっています。修正案では減額されないよう1年に1年ずつ引き上げるとしています。

では「給与構造の総合的見直し」そのもの不合理さや、教職員の生活や働く意欲に対する影響などを訴えてきましたが、県教委側は具体的な譲歩案を全く示していませんでした。

今回の教育長交渉の最大の焦点は、どこまで教育長が譲歩案を提示するかにかかっていました。ところが、交渉に教育長が用意した「修正案」は左上の2点でした。

組合側は「修正案は」結局4年後には提案通りに実施するという内容であり、全く不十分で納得できるものではない、として交渉は決裂しました。県教委は県議会への提案を強行するつもりでしたが、組合側の厳しい批判に勤務条件の改善を約束しました。

## 労働時間と健康被害について学習

### 組合学校「労働安全衛生活動」学習会

去る1月10日・11日の2日間に渡って、県教組と合同で「労働安全活動」学習会を開催しました。

一日目の講師の村上剛志氏は『なぜ日本人は働き過ぎるのか』の著者で、生理学的に長時間労働が及ぼす

健康被害などについて説明されました。うつ病が認知症につながるなど聞いて驚きました。

No image

村上剛志氏による講演

二日目は産業カウンセラーの杉本正男氏による講義でした。具体的にどういうことに取り組んでいくか、川口市での負担軽減の全体構想などを例に挙げ講義されました。経済界の後押しもあって労働安全衛生法が当時満場一致で可決された話を聞くと、やはりこの法律は重要な理念が込められていると感じました。長時間過密労働は、肉体的にも精神的にも高いリスクを持っているということが解りました。そんな先生や学校に子どもを預けたいかと訊かれたら、皆さんはどう答えますか?多くのことを考えさせられる学習会でした。

### 第14回全国障害児学級・学校 学習交流集会に参加しました

1月10-12日、和歌山市を会場に第14回全国障害児学級・学校学習交流集会が開催され、青森高教組から3名が参加しました。全国からは学びとつながりの熱い気持ちを持って800名の仲間が集まりました。

1日目の現地企画は76歳までずっと学校で学びたいという要求を持ち続けた中橋さんの夢を、みんなで勝ち取った運動の素晴らしさと、高齢でも学ぶ中で成長し、発達する人間の素晴らしさが、報告され、会場を熱くしました。記念講演は、奈良教育大学、越野先生が行いました。「どの子にも子ども時代にふさわしい豊かな学びと生活を」と題した講演で、「権利としての障害児教育」の歴史と意義を学びなおすことができました。夜の大交流会は、「マダゴロ解体ショー」だけでなく、都道府県ピンゴもあり大盛り上がりでした。2. 3日目は文化バザール、旬の実践講座、教育フォーラムと、たくさん学びをすることができました。東北の仲間をはじめとして、たくさんの仲間とつながり、障害児教育の未来を考える充実した集会でした。来年は横浜で開催予定です。みんなまで参加しましょう。

No image

教職員のみなさん

## その考え、もしかしたら 思い違いかもしれません。

運動神経いいし、若いから事故なんて関係ないよ。



いつおこるか、なぜおこるか分からないから「事故」だ!

気をつけて運転してるから大丈夫!



でも、置れてのすり道……ヒヤリ、ハットの経験ないですか?

自動車保険なんて、どこも同じよ!



その保険、本当に教職員のためのものですか?

教職員と家族の安心のための

### 全教自動車保険

自動車運転する以上、不安は尽きません。日々多忙の中に置かれている教職員にとって交通事故は身分にかかわらず。全教自動車保険は、もしもの場合にも教職員専用の事故対応と補償を実現。仕事もくらしも安心・充実の自動車保険です。

安全運転で仕事もくらしも安心・充実!



代理店 エミール企画 0120-74-1857

### 第58回青森県民教協 教育研究会in浅虫

突会がおこなわれました。「地域と学校と子どもたち」の分科会では、レポートのひとつに「受験校における教師の多忙化」横史仁(八戸高校)と記載したところ、事前に各職場に配付

したチラシを見て、八戸高校1年生のお子さんをもつお父さんが参加してくれました。たくさんの方に研究会の内容を伝え、ともに教育について考えていくことの大切さを改めて感じました。なお、全体の参加者は55名でした。



### 仲間と交流、思いを新たに 青森県労連・東青労連合同旗開き

1月9日金曜日、ホテルクラウンパレスで、青森県労連・東青労連合同旗開きがありました。参加13団体、90名の参加でした。青森高教組からは5名が参加しました。

仲間たちの絆、連帯を歌い上げる合唱が会場に響き渡りました。奥村議長からは情勢の分析と今こそ我々が手をつなぎ、戦争する国づくりへと向かう安倍政権に対して、国民的運動を展開していくという力強いあいさつがありました。県内の様々な労働組合のみなさんと交流しつつ、今年も高教組を大きく強くしていかななくてはと、思いを新たにしました。

No image

No image

年明け早々の1月4日、5日、浅虫温泉「海扇閣」において、第58回青森県民教協教育研究会が行われました。記念講演は、元県教組委員長で現在、青森県生活指導研究会会長の戸義規先生より、「癒しあい、励ましあう子ども達」と題してのリアルでしかも笑いあいの楽しい実践報告を聞くことが出来ました。その後、10の分科会に分かれて研

究を進めました。1月4日、5日、浅虫温泉「海扇閣」において、第58回青森県民教協教育研究会が行われました。記念講演は、元県教組委員長で現在、青森県生活指導研究会会長の戸義規先生より、「癒しあい、励ましあう子ども達」と題してのリアルでしかも笑いあいの楽しい実践報告を聞くことが出来ました。その後、10の分科会に分かれて研